

Acoustic Piano Multifunction MIDI Converter with Silent Mechanism

QuietTime Magic Star

ピアノ消音ユニット



取扱説明書

安全に使っていただくためのご注意



この注意事項には電氣的衝撃、火災、身体の負傷について書かれています。
内容をよく読まれまして製品を安全にご使用ください。

- 1、製品をご使用になる前に、取扱説明書をよく読んでください。
- 2、製品に合った専用の電源アダプターを必ずご使用ください。
- 3、どのような場合にも、絶対に製品を分解しないでください。
- 4、電源の極性に合ったプラグをご使用ください。
- 5、電源コードは他の製品とは隔離し、他の重い物やピアノの重みにより押さえつけられないようにしてください。
- 6、製品を直射日光や、湿気の多い所、高温、極寒を避けてください。
- 7、長期間ご使用にならない場合は、コンセントを抜いてください。
- 8、修理が必要な場合、専門の技術者にご依頼ください。
- 9、本ユニットは本体のみで作動しますが、他の外部機器とつないで使用される場合、出力の特性及び出力差により破損することがありますのでご注意ください。
- 10、長時間、大音量での演奏や不自然な姿勢での演奏は避けてください。
特に大音量での長時間演奏は、聴力損失の原因になりますのでご注意ください。
- 11、自然な空調がある場所に設置するのが望ましい。
- 12、特に水やコーヒーのような飲料水などが、鍵盤やユニット本体にこぼれないようご注意ください。
もし水などをこぼした場合、電源を切って修理を依頼してください。
修理前に電源を入れたりしますと、本体、キーセンサーなどの破損の原因になります。
- 13、次のような場合は専門技術者に修理依頼してください。
電源コード、アダプターが破損した場合
製品に重いものを落としたり、液体をこぼした場合
製品の一部分が露出した場合
製品が正常に動作しなくなった場合
外観に致命的なダメージを受けた場合
- 14、本ユニットを使用しない場合もピアノの基本調律は定期的実施してください。
- 15、鍵盤ナラシ(高さ調整)やアクション整調の後は、本ユニットの正確な動作のため
初期設定を必ず行ってください。

Magic Star

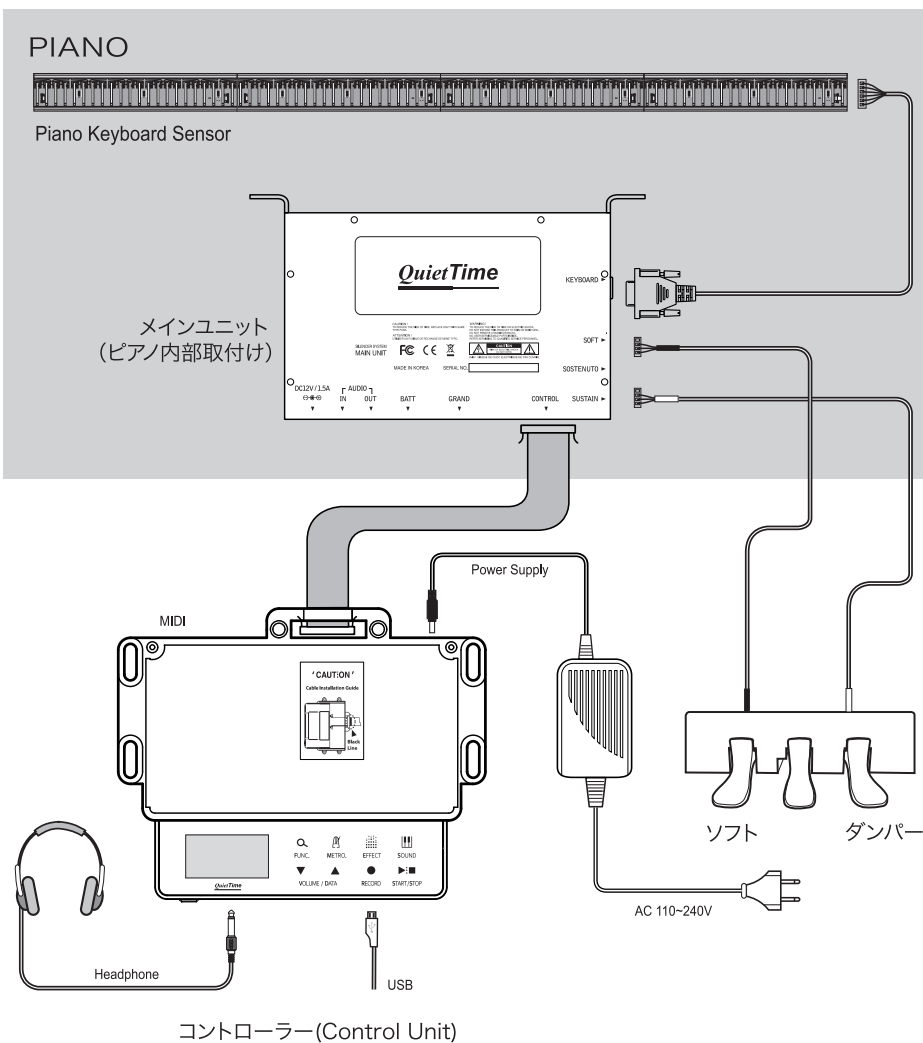
この度はピアノ消音ユニットシステム、Magic Star をお買い求めいただきましてありがとうございます。

本ピアノ消音ユニットを、通常のアコースティックピアノに取り付けることにより、ヘッドホーンを使った消音型ピアノとしてご使用になれます。
演奏情報は、反射式フォトセンサー検出方式により、ピアノタッチそのままの強弱を表現できます。
本ユニットは、デジタル楽器としての基本性能を備えておりますので、ピアノ音を始めたさまざまな楽器音128音色が楽しめます。
また、レッスンに便利なメトロノーム機能、演奏を録音する録音再生機能など、レッスンにはかせない機能も備えています。
そして、デジタル楽器ならではの楽しみとして他のデジタル楽器との接続、パソコンに接続してのMIDIキーボードとしての使用など、楽しみ方の世界を広げるのはあなた次第です。
Magic Star Silencer SYSTEM の操作パネルはタッチセンサータイプです。
各ボタンの英文の個所を軽くタッチするだけで敏感に作動します。

目次

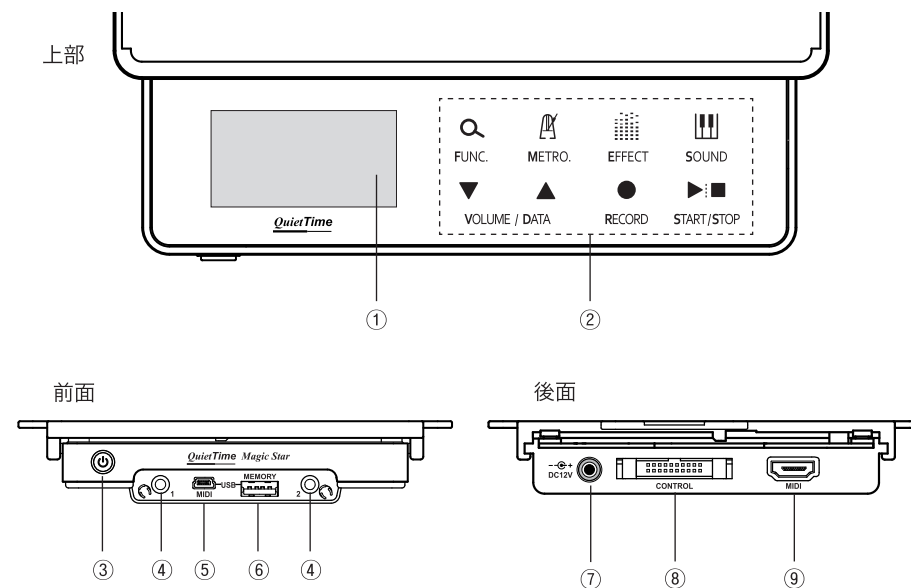
安全にご使用いただくためのご注意	2
製品紹介	3
製品構成及び配線図	4
各部の名称及び機能	5
基本操作	7
多様な機能の活用	8
鍵盤操作による多機能の呼び出し	15
メトロノーム機能	18
演奏効果	20
録音、再生	21
レッスンモード(Practice)	25
システムの初期設定	26
鍵盤毎の感度調整、システム設定機能	27
外部オーディオとの接続	28
MIDI PROGRAM Chart (GM)	30
練習曲 Chart (216曲)	31
DRUM Chart	32
MIDI Implenentation Chart	33
User-Set 編集パラメーターChart	34
製品の仕様及び規格	35
故障かな?と思われる前に	36

製品構成及び配線図



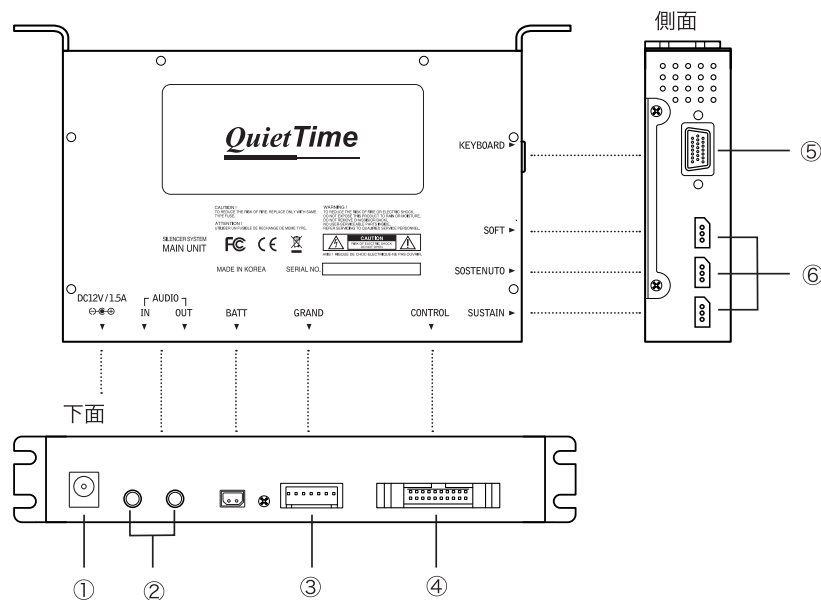
各部の名称及び機能

コントローラー (CONTROL UNIT)



- ① 液晶ディスプレイ (Display) : 楽器音、各種機能の設定値表示
- ② 各種設定タッチパネル: ファンクション / メトロノーム / サウンド効果 / 音色
データ UP DOWN / 録音 / 再生・停止
- ③ 電源スイッチ: システム全体のON-OFF
- ④ ヘッドホン端子: ヘッドホンは2つ使えます。
- ⑤ USB PORT (Device): パソコンUSB接続 (USB MIDI, System Update)
- ⑥ USBホスト (Memory): USBメモリースティック接続
- ⑦ DC JACK: 専用電源アダプター端子
- ⑧ CONTROL: 専用ケーブルで内部メインユニットと接続
- ⑨ MIDI: オプション販売のMIDI拡張ケーブルを繋ぎ、外部MIDI機器と接続

メインユニット (MAIN UNIT)



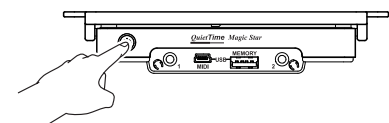
- ① DC JACK: 専用電源アダプタージャック
(コントローラーもしくはメインユニットのどちらかに電源接続)
- ② AUDIO IN / OUT: 外部オーディオ機器とステレオ接続
- ③ GRAND : グランド用ミュートレール取付け時に接続
- ④ CONTROL: コントローラーと接続
- ⑤ KEYBOARD: 鍵盤センサーと接続
- ⑥ PEDAL SENSOR: ペダルセンサーモジュールと接続
(ソステヌートは対応UPもしくは対応GPに適用)

はじめに

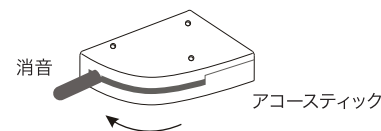
電源アダプターは必ず専用アダプターをご使用ください。

システムの起動

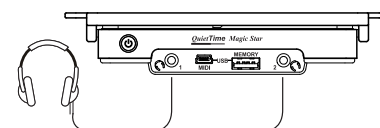
消音ユニットを取付けた後にシステムの合ったピアノの整調、鍵盤センサーの初期設定後にご利用が可能になります。



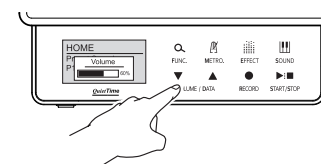
- (1) 電源スイッチをON
グランドは自動的にミュートONになります。



- (2) アップライト
消音レバーを引き、消音状態にする。



- (3) ヘッドホーンをしっかりと差し込みます。



- (4) 適度な音量と楽器音を選び演奏します。

SYSTEM
Grand Mute :
No Grand module

電源ON時、グランドのミュート解除
[FUNC.]+[SOUND]を同時に押す。
[FUNC.]ボタンで GRAND MUTE : を表示
[▼]もしくは[▲]でミュートON-OFFの切り替え

多様な機能の活用

基本操作

本ユニットは通常は HOME モードで演奏します。
HOME モードでは [▼],[▲]ボタンで音量調節します。

HOME
Preset Sound
P1 : Piano 1

[SOUND] ボタンを押すと SOUND モードに切り替わります。
SOUND モードでは [▼],[▲]ボタンで音色の切り替えをします。

[▼],[▲]ボタンで音量調節

[SOUND] ボタンにて HOME モードと SOUND モードが
交互に切り替わります。

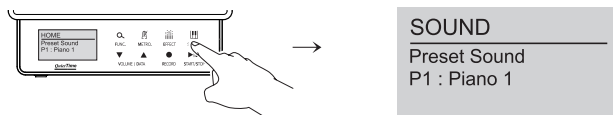
SOUND
Preset Sound
P1 : Piano 1

[▼],[▲]ボタンで音色切換え

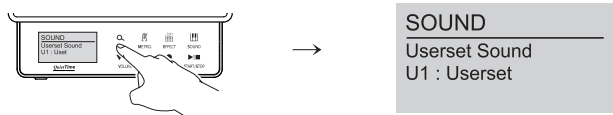
A 音色の選択

コントローラーにて Pre-Set Sound 17音色、User-Set Sound 17音色設定可能、
GM128音色が選べます。Pre-Set Soundは工場出荷で設定され変更は不可です。
User-Set Soundはユーザーが任意で編集可能、色々な効果や音色作りができます。

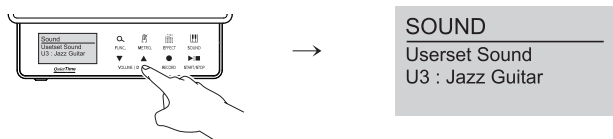
(1) [SOUND]ボタンを押すと音色モードになり[SOUND]ボタンが明るくなります。



(2) [FUNC.]ボタンの押す毎に Pre-Set Sound, User-Set Sound, GM Soundに変わります。



(3) [VOLUME / DATA] の [▲]もしくは[▼]で表示サウンドグループ内の音色を選びます。



(4) GM Soundでは1チャンネルのみ使用されます。(他のチャンネルOFF)

- ・ [▲]ボタンで上順 [▼]ボタンで下順 長押しで早送りになります。
- ・ [▲] + [▼] 同時押しで 000 : Piano1に戻ります。

(5) 音色選択後に [SOUND]ボタンで HOMEモードに戻ります。

Pre-Set Sound

NO.	Pre-Set 音色	NO.	Pre-Set 音色
P1	Piano 1	P10	Sound Track
P2	Piano 2	P11	Strings
P3	E. Piano 1	P12	Pan Flute
P4	E. Piano 2	P13	Pipe Organ
P5	E. Piano 3	P14	Chrurch Organ
P6	Vibraphone	P15	Organ 3
P7	Celesta	P16	Tubular Bell
P8	Tinkle Bell	P17	Drum
P9	Harpsichord		

User-Set Sound(工場出荷時)

NO.	User-Set 音色	NO.	User-Set 音色
U1	Accordion	U9	Clarinet
U2	Nylon Guitar	U10	Marimba
U3	Jazz Guitar	U11	Xylophone
U4	Steel Guitar	U12	Reed Organ
U5	Strings	U13	Piano + Trpt
U6	Brass 1	U14	Piano + Flute
U7	Brass 2	U15	Adventure
U8	Saxophone	U16	Piano + Vibra



・ GM Sound は29ページ音色一覧を参照

本消音ユニットはデジタルピアノのような多様な音色機能を備え、色んなジャンルに合わせた音色で楽しめます。また、GM音源内蔵していますので、音源モジュールとしても使用可能です。

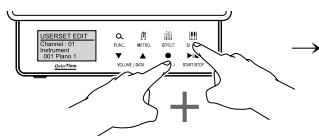
B. User-Set Sound 編集

本ユニットは16パターンのユーザープリセットが設定できます。

各プリセットには音色が16チャンネルあり、各チャンネル毎に21のパラメーターがあります。

各パラメーターの設定は13ページのユーザー編集パラメーターをご覧ください。

(1) HOMEモードより [RECORD] + [SOUND] ボタンでUSER編集モードになります。



USERSET EDIT
Channel : 01
Instrument
001 Piano 1

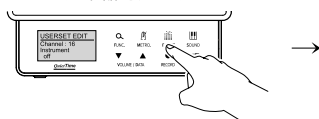
(2) 現在の音色を基本に編集されます。

・編集モードでの各ボタンの機能

ボタン	機能
[FUNC.]	パラメーター逆方向
[METRO.]	パラメーター順方向
[EFFECT]	チャンネル DOWN
[SOUND]	チャンネル UP
[▲]	設定値 UP
[▼]	設定値 DOWN

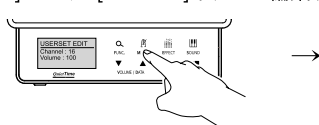
(3) [EFFECT]もしくは[SOUND]ボタンで編集するチャンネルを選択

10チャンネルは打楽器専用チャンネル



USERSET EDIT
Channel : 16
Instrument
off

(4) [FUNC.]もしくは[METRO]ボタンで編集するパラメーターを選択



USERSET EDIT
Channel : 16
Volume : 100

(5) [▲]もしくは[▼]でパラメーターの設定値を変更します。

[▲]もしくは[▼]を同時に押すとデフォルトの値になります。

(6) 上記作業を繰り返し、チャンネル毎のパラメーターの値を設定します。

Global パラメーター

Globalパラメーターは各チャンネルに設定されず、システム全体に適用されます。(Page 13)

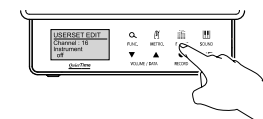
本ユニットのGlobalパラメーター

Velocity Curve / Pitch / Reverb Type / Chorus Type / Cutoff Frequency / Resonance / Title
:Globalパラメーター調整時、設定された全てのチャンネルで音が出力されます。

C. User-Set Sound 編集後のプリセットネーム変更

ネーム変更

(1) 編集モードで [EFFECT]もしくは[SOUND]ボタンで Name : パラメーターを選択

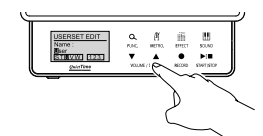


USERSET EDIT
Channel : 16
Instrument
off

(2) 黒地白ヌキの文字が編集中の文字です。下記の文字配列を参考に

[▲]もしくは[▼]ボタンで文字を設定

・鍵盤を使用して文字、数字、記号の入力も可能です。

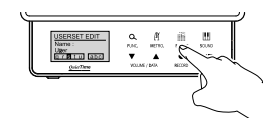


USERSET EDIT
Name :
User
STUVW 123

(3) 設定後に[EFFECT]もしくは[SOUND]ボタンで次の文字に移動します。

・[START / STOP]ボタンで文字セット(英文大文字、英文小文字、数字、記号)に変換

・鍵盤入力にて直接文字入力も可能です。



USERSET EDIT
Name :
User
q r s t u abc

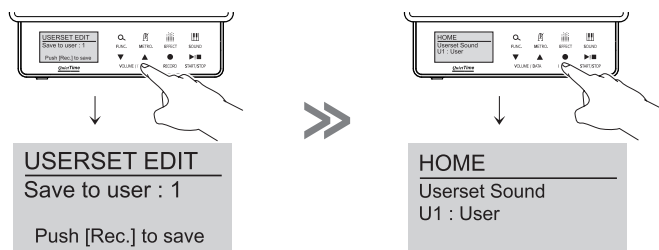
ネーム変更可使用可能な文字配列チャート

- ・ A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z
- ・ a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z
- ・ 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
- ・ Space, 1, ~, #, &, %, &, ' (,), *, +, -, /, :, ;, <, =, >, ?, @, [, W,], ^, _ {, |, }, ~

(4) 繰り返し [▲], [▼] ボタンで文字を設定します。

USER NAME 編集をメモリーさせ、HOMEモードに戻る

- ・ USER NAMEを編集後に [RECORD] ボタンを押すとメモリーされ HOMEモードに戻ります。
- ・ USERSET EDIT画面にて、[▲]もしくは[▼] ボタンで所定のNO,選択した後に [RECORD] ボタンにてメモリー後に HOME モードに戻ります。



USER NAME 編集を中断させ、HOMEモードに戻る

入力内容をメモリーする事なく戻るには [START / STOP] ボタンを押すと、入力内容を記録することなく HOME モードに戻ります。

D. USER EDIT パラメーター

パラメーター	設定範囲	設定内容
Patch (音色)	000 ~ 127 もしくはOFF	本システムには128のPatchがあります。 [▲]Valueもしくは[▲]value ボタンで音色を設定します。 [▲]Value + [▲]value を同時に押すとチャンネルOFFになります。 Ch.10は打楽器専用チャンネルです。
Volume (音量)	000 ~ 127	該当チャンネルのボリューム設定 基本値は100に設定
Reverb (残響効果)	000 ~ 127	該当チャンネルの残響を設定 数値が大きいほど残響が長くなる。
Chorus (コーラス)	000 ~ 127	該当チャンネルのコーラス効果を設定。 数値が大きいほど 多数のコーラスになる。大きすぎるとピッチが合わない。
Tanspose (移調)	± 24半音	半音単位で上下2オクターブで設定可能 Layer効果やSplit効果に使用
Key Low (最低発音位置)	A0 ~ A8	設定鍵盤より低音側が発音しない。 Split 効果に使用
Key High (最高発音位置)	A0 ~ A8	設定鍵盤より高音側が発音しない。 Split 効果に使用
PAN	A0 ~ C8	楽器毎の音の発音の左右位置を配置する。ステレオ効果や 各楽器の発音位置の立体化に使用
Velocity Low	000 ~ 127	打鍵速度は該当音色のダイナミクスに反映されますが、 設定後は設定値以下の大きさでは音が出ない。
Velocity High	000 ~ 127	打鍵速度は該当音色のダイナミクスに反映されますが、 設定後は設定値以上の大きさでは音が出ない。
Velocity	Enable Disable	Velocity値を Enable(機能)に設定すると、打鍵速度に合わせた Velocity値が検出され、Disabel(禁止)にすると打鍵速度に 関係なく一定の音量が発音される。
Left Pedal	Soft Sostemuto	楽器音色や特徴に合わせ、左ペダルを Soft もしくはSostenuto ペダルに指定し、使用する事が可能

パラメーター	設定範囲	設定内容
Smart Pedal	ON / OFF	Smart Pedal 設定音源に対し、ダンパーペダルを踏みながらの演奏時新たに鍵盤を弾くと、以前の該当音色は消えます。さらに弾くと古い音は消えて行きますが、早いパッセージの場合のみ消えずにサステーンがかかった音色がつながります。
Play Mode	Play, Mono	Playを設定すると打鍵全ての音鳴る。Monoに設定すると打鍵中に最後の打鍵もしくは最後まで打鍵された音だけ鳴る
Reverb Type	1 ~ 8	8種類のリバーブタイプの変更 デフォルト値 Hall 1
Chorus Type	1 ~ 8	8種類のコーラスタイプの変更 デフォルト値 Chorus 1
Velocity Curve	1 ~ 5	5種類のVelocity Curve(鍵盤感度調整) 数値が小さいと打鍵の強さより小さく発音、数値が大きいと軽い打鍵で大きな音量が出る。
Pitch	438 ~ 445Hz	基本ピッチを設定します。
Cut Off	000 ~ 127	数値を上げると上位倍音を抑え、柔らかいサウンドになります。
Frequency		数値を下げるとサウンドが明るくなります。
Resonance	000 ~ 127	Cut Off Frequency周囲の周波数を強調します。
Title Char.		User-Setの USER NAMEを入力する

鍵盤操作による多機能の呼び出し

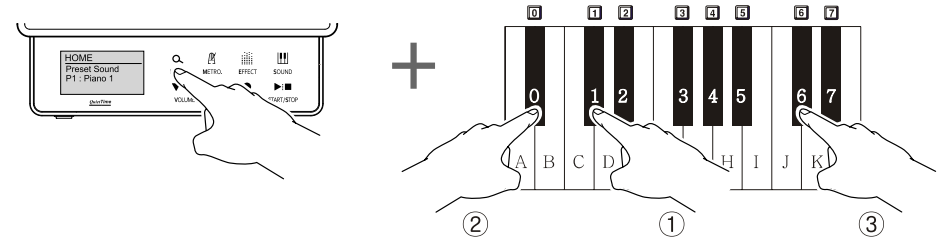
本システムはコントローラーの限定されたボタン操作以外にも [FUNC.] ボタンを押しながらの状態では鍵盤に割り当てられた操作で、各種音色、効果、移調などが可能です。

A. 128GM音色の呼び出し

[FUNC.] ボタンを押した状態で鍵盤に割り当てられた数字を組み合わせ、000~127番までの音色を選択できます。（組み合わせが127以上の場合、自動で 000 : Piano1となる）128の音色はGMチャートをご参考ください。
実楽器の実音域を超えた音域での発音は不自然な発音になることがあります。
鍵盤操作での選択楽器は単一チャンネルになります。

例) 106番音色を選択

[FUNC.] を押しながら”1”に該当するC#1(1)、“0”に該当するA#0(0)、“6”に該当するC#2を順に押した後に [FUNC.] ボタンは離す。

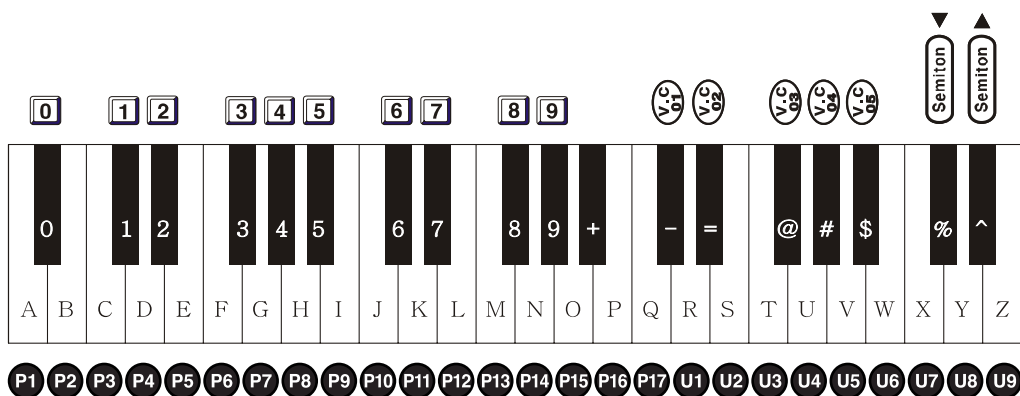


B. 鍵盤ベロシティカーブ(鍵盤感度)調整

[FUNC.] ボタンを押しながら鍵盤に割り当てられたベロシティカーブ1~5のより選びます。鍵盤を弾いた時の重さが変わった感じがします。基本設定は3になっています。

該当鍵盤	ベロシティカーブ	鍵盤の重さ
29: C#3	Velocity Curve 1	重く感じる
31: D#3	Velocity Curve 2	少し重く感じる
34: F#3	Velocity Curve 3	普通(基本値)
36: G#3	Velocity Curve 4	少し軽く感じる
38: A#3	Velocity Curve 5	軽く感じる

あくまでも弾き心地ですので実際の鍵盤の重さは変わりません。

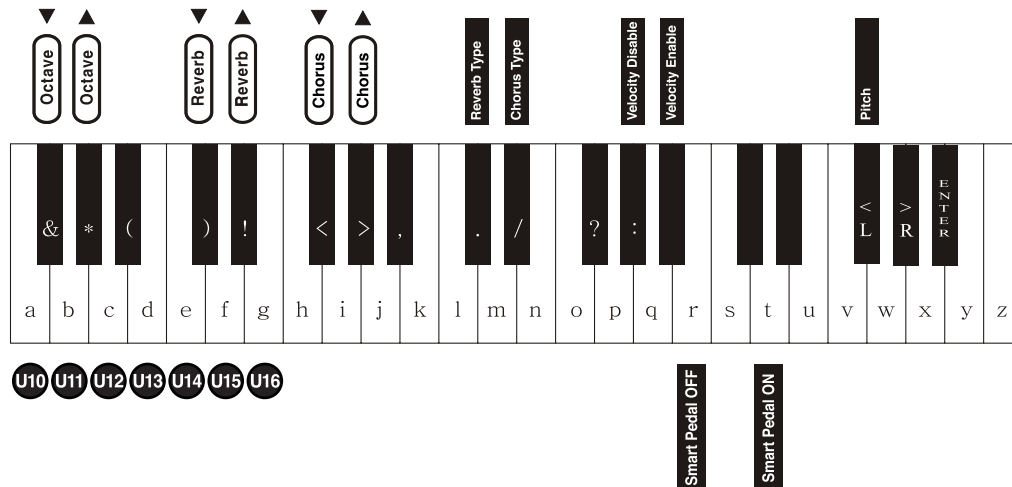


C. キートランスポーズ(移調)

[FUNC.] ボタンを押しながら指定鍵盤にて半音上げ下げ、オクターブ上げ下げができます。

[FUNC.] ボタンを押しながらリセット鍵盤を押すと元のキーに戻ります。

該当鍵盤	設定範囲	設定値
41:C#4	- 24半音	半音下げ
43:D#4	+ 24半音	半音上げ
46:F#4	- 2オクターブ	オクターブ下げ
48:G#4	+ 2オクターブ	オクターブ上げ
50:A#4	0	Reset (リセット)



D. リバース コーラス(音響効果)設定

[FUNC.] ボタンを押しながら指定鍵盤にてリバース量、コーラス量の調整ができます。

[FUNC.] ボタンを押しながら指定鍵盤にてリバースタイプ、コーラスタイプを変更できます。

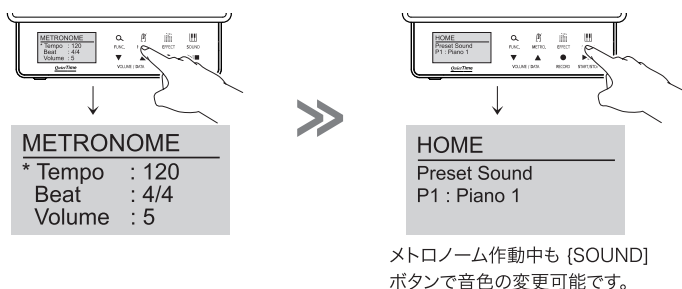
該当鍵盤	設定範囲	設定値
53: C#5	000	Reverb 値 down
55: D#5	127	Reverb 値 up
58: F#5	000	Chorus 値 down
60: G#5	127	Chorus 値 up
65: C#6	8 種類	Reverb type 変更
67: D#6	8 種類	Chorus type 変更

メトロノーム機能 (Metronome)

本ユニットにはレッスンに便利なメトロノーム機能が内蔵されています。

1) メトロノーム基本操作

メトロノームスタートは [METRO.] 押し、ストップは再び [METRO.] 押し
すなわち [METRO.] ボタンで操作する ON / OFF 方式です。



2) メトロノームの動作表示

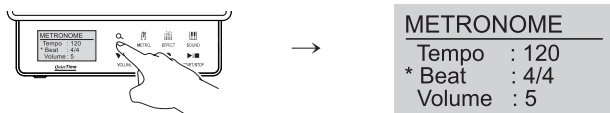
ヘッドホーンから聞こえる拍子に合わせて、[METRO.] ボタンが点滅します。

3) メトロノーム設定

HOMEモードで [METRO.] ボタンを長押しすると METRONOME画面に変わります。
この画面では、テンポ(Tempo)、拍子(Beat)、音量(Volume)がそれぞれ設定できます。
最初はテンポ(Tempo)に★印が印され、テンポ調整の待機状態になります。



- 次に [FUNC.] を押すと星印が Tempo より Beat へ移動します。
- もう一度 [FUNC.] を押すと星印が Volume に移動します。
- さらに [FUNC.] を押すと星印が Tempo に戻ります。
- 星印が印されている設定を [▲],[▼]で変更します。
- 設定後に [SOUND] ボタンを押すと HOME モードに戻ります。

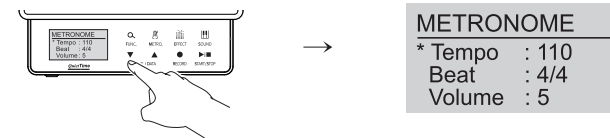


テンポ (Tempo)

1分間の早さを表します。

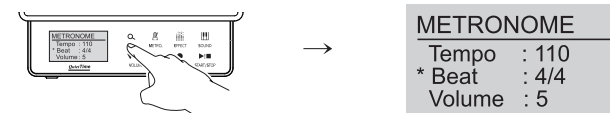
設定範囲: 25~250 の範囲で変更可能

[▲], [▼] 同時押しで基本値 120 に戻ります。



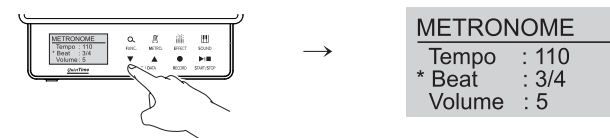
拍子 (Beat)

[▲] もしくは [▼] で拍子を設定します。



設定範囲: 21種類の拍子

[▲], [▼] 同時押しで基本値 4/4 に戻ります。

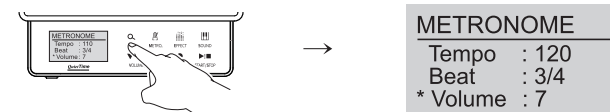


・拍子チャート

1/2	2/2	3/2	4/2						
1/4	2/4	3/4	4/4	5/4	6/4	7/4	8/4		
1/8	2/8	3/8	4/8	5/8	6/8	7/8	8/8	9/8	

音量 (Volume)

演奏楽器音に対比してメトロノームの音量を調節します。

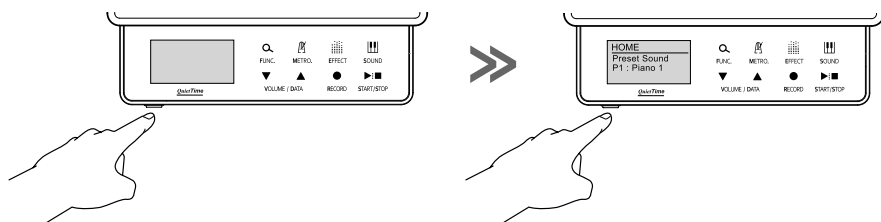


設定範囲: 0~9

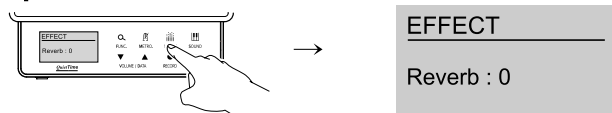
[▲], [▼] 同時押しで基本値 5 に戻ります。

演奏効果

本ユニットは各種音色に色々な演奏効果を加えることができます。
バックアップ機能はありませんので、電源を切ると設定は戻ります。

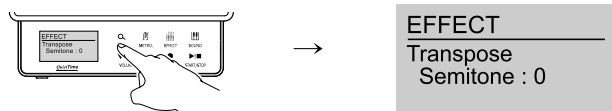


1) [EFFECT] ボタンを押すと効果調節モードに入り、Reverb 画面が表示されます。

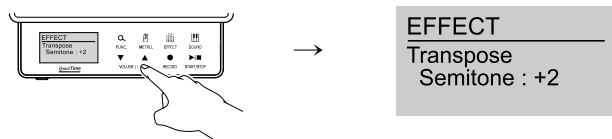


2) 表示画面にて [FUNC.] ボタンにて各種パラメーターを選択します。

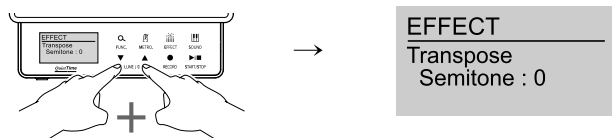
Reverb, Chorus, Transpose, Pitch, Velocity Curve



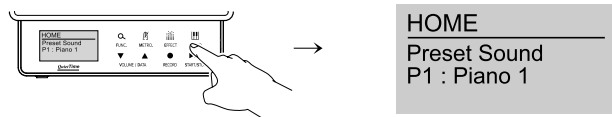
3) [▲], [▼] ボタンで各種設定量を調整します。



4) [▲], [▼] ボタン同時に押すと、デフォルト値になります。(例: 移調は0に戻る)



5) 設定後に [SOUND] ボタンで HOMEモードに戻ります。

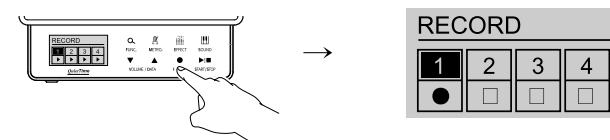


録音再生機能

本ユニットは4トラック録音及び再生が可能で、1つ以上のトラックに録音後に録音済みトラックを再生しながら別トラックに録音する多重録音が可能です。

A. 録音

1) [RECORD] ボタンを押すと録音モードになります。

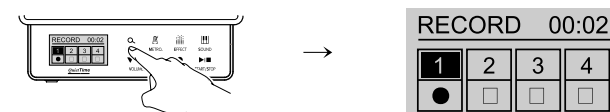


☐ 空トラック (Empty) STOP	RECORD			
☒ 停止	1	2	3	4
☒ 再生	☒	☐	☐	☐
☒ 録音	☒	☐	☐	☐

2) [▲], [▼] ボタンでトラックを選択します。(数字が反転します。)

3) 各該当トラックで [FUNC.] ボタンで●、▶、■を選びます。

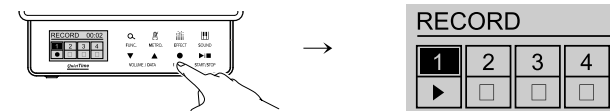
- ・ 録音済みトラックを消去する場合は、トラックを選択後、[EFFECT] を長押しします。
- ・ 全てのトラックを消去するには、[FUNC.] を長押しします。



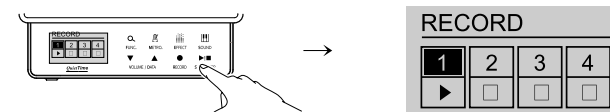
4) [RECORD] ボタンを押すと録音がスタートします。

(1小節、予備拍が出た後に録音が始まります)

5) 録音終了は [RECORD] を再度押します。(後に該当トラックは ▶ (再生) に変わります)



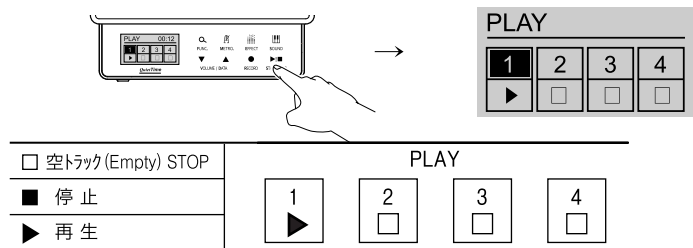
6) 再生は [START/STOP] ボタンで行います。



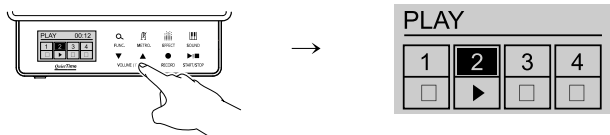
7) [SOUND] ボタンでHOMEモードに戻ります。

B. 再生(USB Memoryが装着されていない場合)

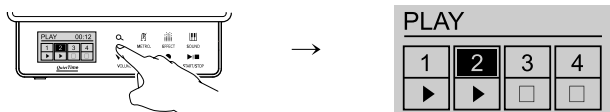
- 1) [START/STOP] ボタンを押すと再生モードになります。



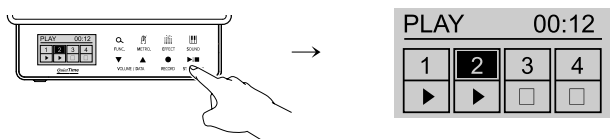
- 2) [▼], [▲] ボタンでトラックを選択します。



- 3) [FUNC.] ボタンで各トラックの再生不可非を選択します。



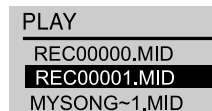
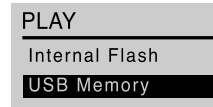
- 4) 再生トラックを選択後、[START/STOP] ボタンを押すと再生します。



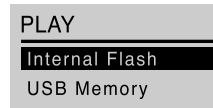
- 5) 再生ストップは [START/STOP] を押します。
6) [SOUND] を押すと、Homeモードに戻ります。

C. 再生(USB Memory 装着)

- 1) 右の画面で [▼] もしくは [▲] ボタンで反転表示で **USB Memory** 表示で [START/STOP] ボタンを押すと、USB Memory内の曲が表示



- 2) [▼], [▲] ボタンで曲を選びます。
3) [START/STOP] ボタンで再生、停止します。



- 4) 右画面で **Internal Flash** を選択すると
B.再生説明の内部録音の再生モードになります。

D. USB Memory の利用

録音／再生 以外の全ての状態でUSB Memoryを装着すると画面上で次の3つが実行できます。

- 1) [RECORD] ボタンを押すと、本体に録音した曲がMemoryへコピー保存されます。

ファイル名は REC00000.MID となります。

REC00000.MID が存在する場合、新規ファイル REC00001.MID が自動生成されます。

ファイル名はパソコン上で前部の5～6文字の書き換えが可能です。(大文字、数字)

新ファイル名も上記プレイリストに反映されます。

- 2) USB Memoryに保存されている曲を再生するには [START/STOP] ボタンで押します。

- 3) 終了時は [SOUND] ボタンを押します。

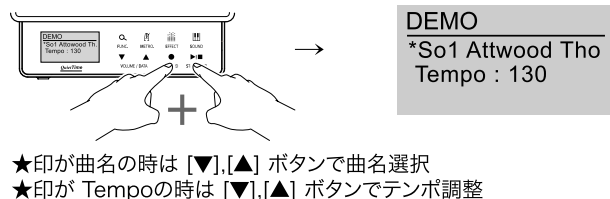
業務用など、もしくは個人的な大事なデータの保護のために
ミュージック用メモリースティックは専用に別スティックをご使用されることをお勧めします。

デモ演奏 (DEMO)

E. デモ演奏 (DEMO)

デモ演奏は本体の性能チェックや曲鑑賞、レッスン用に活用できるように80曲が内蔵されています。

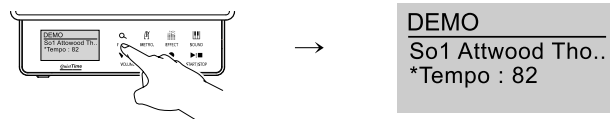
- 1) [RECORD] + [START/STOP] ボタンを同時に押すと、デモ演奏モードに変わります。



- 2) [START/STOP] でデモ曲の再生/停止します。

- 3) 演奏中に [FUNC.] ボタンを押すと★印がTempoに移動します。

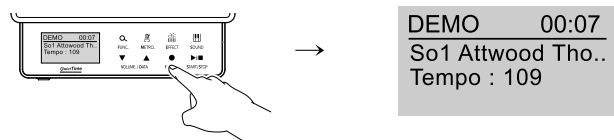
[▼],[▲] ボタンでテンポ調整ができます。



- 4) 演奏中に [FUNC.] ボタンを押し、★印が表示されていない時は [▼],[▲] ボタンでボリューム調整が可能です。

- 5) 演奏中に [EFFECT] ボタンを長押しすると PLAY VOLUMEが表示されます。
これはデモ演奏曲だけのボリューム調整で、自信がデモ演奏に被せて演奏する場合の音量バランスを調整できます。

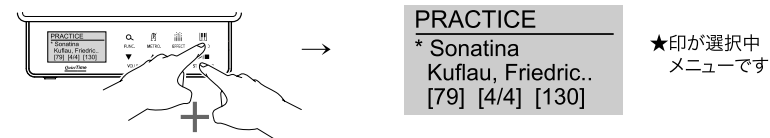
- 6) 演奏中に [RECORD] ボタンを押すと、次の曲が再生されます。



レッスンモード (Practice)

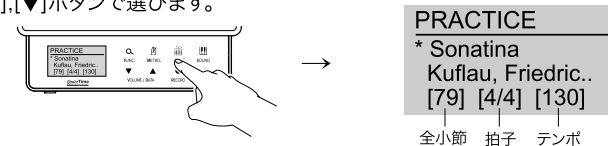
バイエル106曲、チェルニー30曲、ソナチネ80曲(31ページ)が右手、左手別に内蔵されています。

- 1) [SOUND] + [START/STOP] を同時に押すとレッスンモードになります。



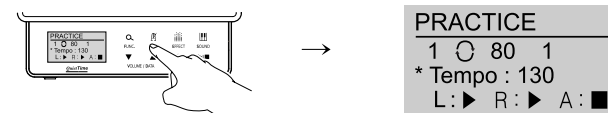
- 2) [EFFECT] ボタンを押すと教則本(Book)もしくは曲(Song)を選択できます。

・ [▲],[▼]ボタンで選びます。



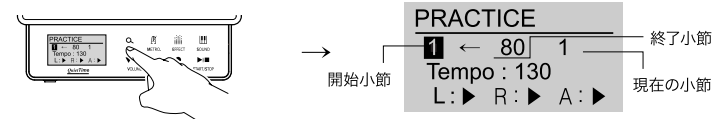
- 3) [METRO] ボタンを押すとテンポ(Tempo)が変更できます。

・ [▲],[▼]ボタンで調節します。



- 4) [FUNC.] ボタンを押すとスタート小節、終了小節を設定でき、小節間反復練習も可能です。

・ [▲],[▼]ボタンで設定します。

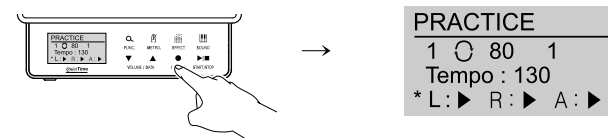


- 5) [RECORD] ボタンを押すと必要に応じて、各パート別に再生可能です。

[L] : 左手再生 ([▼] で設定) [R] : 右手再生 ([▲] で設定)

[A] : 伴奏パート再生 ([RECORD] ボタンで設定) [▶] : 再生 (PLAY)

・ 画面で ■はパート再生なしを表示します。



- 6) [START/STOP] ボタンでスタート/ストップします。

- 7) 再生中に [METRO.] ボタンで一旦停止します。(テンポ変更可能です)

・ 再度 [METRO.] ボタンで停止位置より再生が続きます。

・ [START/STOP] ボタンを押すと、最初からもう一度再生されます。

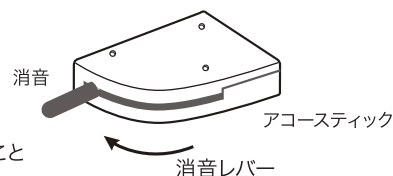
- 8) [EFFECT] ボタンで曲選択に戻ります。

システムの初期設定

本システムは消音状態で、演奏者だけがデジタルピアノ音を聞くことができるように、鍵盤の下でセンサーが鍵盤の動きに合わせて変化する光を測定することによる信号を、本体のスキャンプログラムにより再生に必要な MIDI 信号に変換しています。本システムは、本システムは連続的位置検出を採用しているため、取付けた後に、鍵盤とキーセンサーの感度調整を、システム初期設定により、最適な感度によるデジタル音再生を行います。

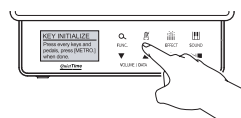
A. 初期設定の前に

- (1) 本システムの配線連結が完全であること
- (2) 消音レバーが消音位置にあること
- (3) 設定前に鍵盤が押されていないこと
- (4) レットオフ等の消音システムに合ったピアノ調整が済んでいること



B. 初期設定モード

- (1) 電源を入れた直後にシステムが立ち上がるまでに、[METRO.]ボタンを押しつづけ、次の画面が表示されたら、ボタンを離し入力指示画面を待ちます。



KEY INITIALIZE
Release button
and wait ...

- (2) 88鍵盤を全てメゾフォルテぐらいの強さでしっかりと弾きます。
弾く順序や重複は影響しませんが必ず全ての鍵盤を弾くこと
また、重複して弾いた場合、あとで弾いた価が入力されます。
- (3) 各ペダルを一度づつ踏みます。
- (4) 88鍵盤を弾いた後に [Metr] ボタンを押します。
保存中画面でそのまま待ちます。

KEY INITIALIZE
Press every keys and
pedals, press [METRO.]
when done.

KEY INITIALIZE
Memolizing ...

HOME
Preset Sound
P1 : Piano 1

鍵盤データのメモリーが完了しますと次の
HOME 画面に変わりましたら演奏可能となります。



初期設定作業は、通常取付け技術者が行います。
また、引っ越しや長期間使わなかった時など、システムが不安定時に再設定されることお勧めします。

鍵盤ごとの感度調整（ボリューム調整）

キーセンサーの初期設定にて、各鍵盤ごとの感度は自動調整されますが、
若干の鍵盤ごとの音量の違いが出る場合は、下記の作業にてボリュームの微調整が可能です。

A. 鍵盤感度の個別調整

- (1) 電源を入れシステムが立ち上がる前に [RECORD] ボタンを押し
次の画面に変わるまで待ちます。
- (2) ヘッドホーンを着用し、鍵盤を弾きながら音量バランスを
チェックします。

KEY SENSE ADJ.
Number :
Sense :
Push [Rec.] to Finish.

調整が必要と思われる鍵盤を [▲],[▼]で調整します。
調整範囲は 000～255 です。
表記の数値が絶対音量ではありませんので、
ご注意ください。

KEY SENSE ADJ.
Number : 57
Sense : 130
Push [Rec.] to Finish.

- (3) 調整が終わりましたら、再度 [RECORD] ボタンを押すと
設定内容がメモリーされ、HOMEモードとなり、
演奏可能となります。

HOME
Preset Sound
P1 : Piano 1

システム設定機能

- ・ HOMEモードで [FUNC.] + [SOUND] を押すとシステム
設定画面に変わります。
- ・ [FUNC.] ボタンで設定項目を選択します。
- ・ [▲], [▼] ボタンで設定を変更します。
- ・ [SOUND] ボタンで設定がメモリー、HOMEに戻ります。

- 1, Mute On/Off (Grand Module 装着時) グランド消音On/Off
- 2, Firmware Version 表示 (変更不可、現在のシステムVersion)
- 3, Start-Up音色 : 電源を入れた時の基本音色設定 (Preset 17, Uesr-Set 16の中のひとつ)
- 4, Start-Up Volume : 電源を入れた時の基本音量 デフォルト値:60 設定範囲:0~100
- 5, Line In/Out Gain : デフォルト値:Line Out:0dB Line In : -10dB 設定範囲:0~ -79dB
- 6, システムの初期化:全てのセッティングを工場出荷状態に戻す。
- 7, LCD Contrast: 設定範囲:0~12 デフォルト値:工場でセッティング
- 8, LCD Back light : 自動消灯時間 Always ON, 10秒、20秒、30秒
- 9, システム時間設定 : (Option Backup Battery装着時) 内蔵時計を調整する。
- 10, 鍵盤モード : 1 Upright用 2 Grand用
- 11, トリル時 Note off 挿入 : On/Off
- 12, MIDI Out Channel : 1~16 デフォルト値 : 1

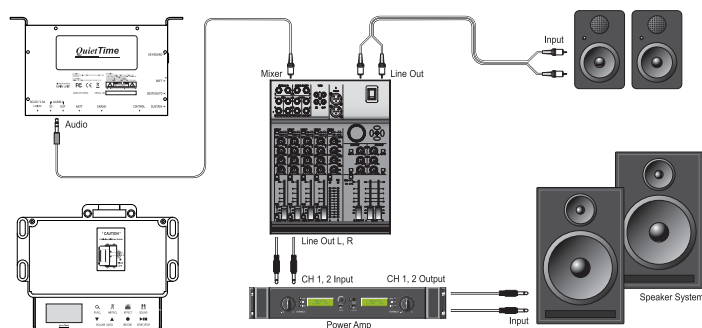
SYSTEM
Grand Mute :
No Grand module

外部オーディオとの接続

本体にはオーディオ入力及び出力端子がありますので、外部オーディオ機器と接続し外部スピーカーより音を出したり、外部オーディオの音を聴きながら練習することができます。

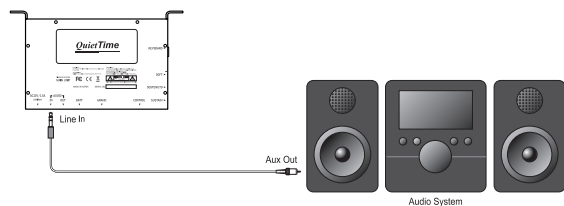
適切なオーディオケーブルにて接続し、入力、出力レベルを調節の上ご使用ください。

A. 外部スピーカーより聴く場合



- (1) 本体オーディオ出力端子より外部オーディオ入力端子にオーディオケーブルにて接続する。
外部オーディオの入力レベルを調節の上オーディオ出力ボリュームを調整します。
- (2) オーディオ端子よりの出力レベルは本体よりレベル調整が可能であり、外部オーディオでも出れますのでオーディオ機器の容量を超過しないように調整が必要です。
- (3) ヘッドホーン端子より"1/8"プラグを使用して出力かのですが、オーディオ出力に比べて4dB程度出力が高いため、音がつぶれないように出力を調整して使用してください。

B. 外部オーディオ機器を演奏を聴きながら弾く



CD,Tape,MP3などより再生される音を聴きながらの演奏を本システムでは簡単な接続で出来ます。
オーディオケーブルを使って外部オーディオ出力アウトと本システムのオーディオ入力端子を接続します。

オーディオケーブル(RCA Jack)または"1/8"ステレオプラグが使用可能ですので機器に合ったケーブルをご用意ください。
本体への入力レベルはシステム設定機能で調整できます。

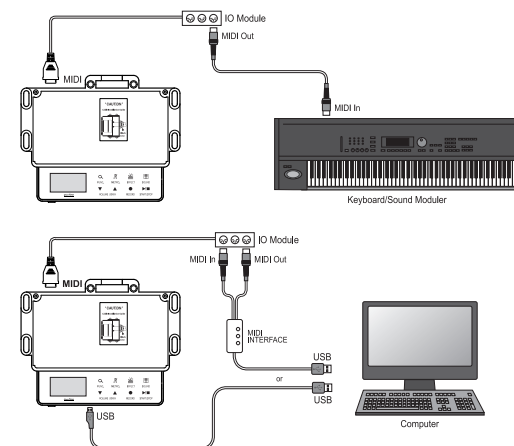
外部MIDI機器との接続

MIDI拡張ケーブルは別売りオプションとなっています。

前面USBポート 左側 mini Bタイプ 5pin : USB MIDI PORT

前面USBポート 右側 Aタイプ4 : USB MEMORY STICK専用

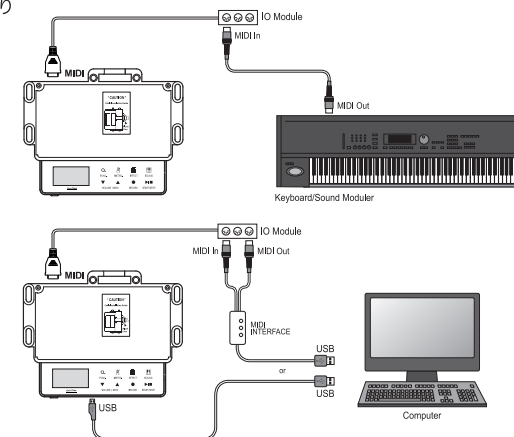
MIDI OUT



本ユニットの演奏データを他のMIDI機器でSOUNDを再生するとPC側MIDIプログラム使用してPCの保存可能

- A. 本ユニットのMIDI OUTより他の機器のMIDI INへはMIDI CABLE(5 Pin Round Din Cable)を使用する。
- B. 外部MIDI機器の入力を設定して使用する。
- C. MIDI Interface 内蔵
- D. MIDI I/O Cable 別売り

MIDI IN



- A. 外部機器MIDI OUTと本ユニットのMIDI INをMIDI CABLEで接続
- B. 本ユニットは音源モジュール使用のみ、パラメーターは外部機器でコントロールします。
- C. メーカーによりGMやPatchの一部に音量、音色の差がありますので、違いを感じる場合があります。

MIDI PROGRAM CHART (GM)

Piano

000 Piano 1	004 E.Piano 1
001 Piano 2	005 E.Piano 2
002 Piano 3	006 Harpsichord
003 Piano 4	007 Clavinet

Organ

016 Organ 1	020 Reed Organ
017 Organ 2	021 Accordion
018 Organ 3	022 Harmonica
019 Churh Organ	023 Bandneon

Bass

032 Acoustic Bs.2	036 Slap Bass 1
033 Fingered Bs	037 Slap Bass
034 Picked Bass	038 Synth Bass 1
035 Fretless Bs	039 Synth Bass 2

Ensemble

048 Strings 0	052 Chair Aahs
049 Slow Strings	053 Voice Oohs
050 Syn. Str 1	054 Synth Vox
051 Syb. Str 2	055 Ochestra Hit

Read

064 Soprano Sax	068 Oboe
066 Alto Sax	069 English Horn
067 Tenor Sax	070 Bassoon
067 Baritone Sax	071 Clarinet

Synth Lead

080 Square Wave	084 Charang
081 Saw Wave	085 Solo Box
082 Syn.Calloiope	086 5th Saw Wave
083 Chiffer Lead	087 Bass & Lead

Synth SFX

096 Ice Rain	100 Brightness
097 Sondtrack	101 Goblin
098 Crystal	102 Echo Drops
099 Atmosphere	103 Synth Bass 2

Percussive

112 Tinkell Bell	116 Taiko
113 Agogo	117 Melo Tom
114 Steel Drums	118 Synth Drums
115 Woodblock	119 Reverse Cym

Chaomatic Percussin

008 Celesta	012 Marimba
009 Glockenspiel	013 Xylophone
010 Music Box	014 Tubular-bells
011 Vibraphon	015 Dulcimer

Guitar

024 Nylon-str.Gt	028 Muted Guitar
025 Steel-str.Gt	029 Overdrive Gt
026 Jazz Guitar	030 Distortion Gt
027 Clean Guitar	031 Gt.Harmonics

String / Orchestra

040 Violin	044 Tremolo Str
041 Viola	045 Pizzicato St
042 Cello	046 Harp
043 Contrabass	047 Timpani

Bass

056 Trumpet 1	060 French Horn
057 Trombone	061 Brass
058 Tuba	062 Synth Brass 1
059 Muted Trumpet	063 Synth Brass 2

Pipe

072 Piccolo	076 Bottle Blow
073 Flute	077 Shakuhachi
074 Recorder	078 Whistle
075 Pan Flute	079 Ocarina

Synth Pad etc.

088 Fantasia	092 Bowed Glass
089 Warm Pad	093 Metal pad
090 Polysynth	094 Halo Pad
091 Space Voice	095 Sweet Pad

Ethnic

104 Sitar	108 Kalima
105 Banjo	109 Bag Pipe
106 Shamisen	110 Fiddle
107 Koto	111 Shannai

SFX

120 Gt.FretNoise	124 Telephone
121 Breath Noise	125 Helicopter
122 Seashore	126 Applause
123 Bird	127 Gun Shot

練習曲チャート216曲(デモ演奏:ソナチネ(Sonatina)80曲含む)

- ・バイエル(Beyer) Op.101, No.1 ~ Op.101, NO.106 全106曲
- ・チェルニー(Czerny) Op.849, NO.1 ~ Op.849, NO.30 全30曲
- ・ソナチネ(Sonatina) 全80曲

ソナチネ(Sonatina)リスト

1 So1 Attwood, Thomas - Sonatina in G 1楽章	41 So41 Gurllitt, Cornelius - Sonatina, Op.36, No.6 3楽章
2 So2 Attwood, Thomas - Sonatina in G 2楽章	42 So42 Haslinger, Tobias - Sonatina in C 1楽章
3 So3 Attwood, Thomas - Sonatina in G 3楽章	43 So43 Haslinger, Tobias - Sonatina in C 2楽章
4 So4 Attwood, Thomas - Sonatina in F 1楽章	44 So44 Haydn, Franz Joseph - Sonata, Hob.XVI/13 3楽章
5 So5 Attwood, Thomas - Sonatina in F 2楽章	45 So45 Keller, Oswin - Sonatina
6 So6 Attwood, Thomas - Sonatina in F 3楽章	46 So46 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.55, No.1 1楽章
7 So7 Beethoven, Ludwig van - Sonatina in G 1楽章	47 So47 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.55, No.1 2楽章
8 So8 Beethoven, Ludwig van - Sonatina in G 2楽章	48 So48 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.55, No.3 1楽章
9 So9 Beethoven, Ludwig van - Sonatina F 1楽章	49 So49 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.55, No.3 2楽章
10 So10 Beethoven, Ludwig van - Sonatina F 2楽章	50 So50 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.20, No.1 1楽章
11 So11 Beethoven, Ludwig Van - Sonata, Op.49, No.2 1楽章	51 So51 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.20, No.1 2楽章
12 So12 Beethoven, Ludwig Van - Sonata, Op.49, No.2 2楽章	52 So52 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.20, No.1 3楽章
13 So13 Benda, Jiri Antonin - Sonatina in A Minor	53 So53 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.88, No.1 1楽章
14 So14 Biehl, Albert - Sonatina, Op.57, No.1 1楽章	54 So54 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.88, No.1 2楽章
15 So15 Biehl, Albert - Sonatina, Op.57, No.1 2楽章	55 So55 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.88, No.1 3楽章
16 So16 Biehl, Albert - Sonatina in C	56 So56 Kuhlau, Friedrich - Sonatina, Op.88, No.3, 3楽章
17 So17 Camidge, Matthew - Sonatina in D 1楽章	57 So57 Latour, Jean Theodore - Sonatina in C, 第1楽章
18 So18 Camidge, Matthew - Sonatina in D 2楽章	58 So58 Latour, Jean Theodore - Sonatina in G 1楽章
19 So19 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.1 1楽章	59 So59 Latour, Jean Theodore - Sonatina in G 2楽章
20 So20 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.1 2楽章	60 So60 Latour, Jean Theodore - Sonatina in G 3楽章
21 So21 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.1 3楽章	61 So61 Latour, Jean Theodore - Sonatina in G 第1変奏
22 So22 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.2 1楽章	62 So62 Latour, Jean Theodore - Sonatina in G 第2変奏
23 So23 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.2 2楽章	63 So63 Lichner, Heinrich - Sonatina, Op.49, No.1 1楽章
24 So24 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.2 3楽章	64 So64 Lichner, Heinrich - Sonatina, Op.49, No.1 2楽章
25 So25 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.3 1楽章	65 So65 Lichner, Heinrich - Sonatina, Op.49, No.1 3楽章
26 So26 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.3 2楽章	66 So66 Lynes, Frank - Sonatina, Op.39, No.1 1楽章
27 So27 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.3 3楽章	67 So67 Lynes, Frank - Sonatina, Op.39, No.1 2楽章
28 So28 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.4 1楽章	68 So68 Lynes, Frank - Sonatina, Op.39, No.1 3楽章
29 So29 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.4 2楽章	69 So69 Mozart, Wolfgang Amadeus - Sonatina in C 1楽章
30 So30 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.4 3楽章	70 So70 Mozart, Wolfgang Amadeus - Sonatina in C 2楽章
31 So31 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.6 1楽章	71 So71 Mozart, Wolfgang Amadeus - Sonata, K.545 1楽章
32 So32 Clementi, Muzio - Sonatina, Op.36, No.6 2楽章	72 So72 Mozart, Wolfgang Amadeus - Sonata, K.545 2楽章
33 So33 Czerny, Carl - Sonatina, Op.792, No.8 1楽章	73 So73 Mozart, Wolfgang Amadeus - Sonata, K.545 3楽章
34 So34 Czerny, Carl - Sonatina, Op.792, No.8 2楽章	74 So74 Mozart - Sonata in A Major, K.331, 3rd movement: Rondo a la Turk
35 So35 Czerny, Carl - Sonatina, Op.792, No.8 3楽章	75 So75 Saliutinskaya, Tat'iana - Sonatina in D
36 So36 Diabelli, Anton - Sonatina in F, 第1楽章	76 So76 Spindler, Fritz - Sonatina, Op.157, No.1 1楽章
37 So37 Duncombe, William - Sonatina in C	77 So77 Spindler, Fritz - Sonatina, Op.157, No.1 2楽章
38 So38 Gurllitt, Cornelius - Sonatina in C, 第1楽章	78 So78 Spindler, Fritz - Sonatina, Op.157, No.4 1楽章
39 So39 Gurllitt, Cornelius - Sonatina, Op.36, No.6 1楽章	79 So79 Spindler, Fritz - Sonatina, Op.157, No.4 2楽章
40 So40 Gurllitt, Cornelius - Sonatina, Op.36, No.6 2楽章	80 So80 Wesley, Samuel - Sonatina, Op.4, No.10

ドラムチャート(Drum Chart)

Key No.	標準 セット
27 D#1	High Q
28 E1	Slap
29 F1	Stratch Push
30 F#1	Stratch Pull
31 G1	Sticks
32 G#1	Square Click
33 A1	Metronome Click
34 A#1	Metronome Bell
35 B1	Bass Drum 2(Acoust)
36 C2	Bass Drum 1(Rock)
37 C#2	Side Stick
38 D2	Snare Drum 1
39 D#2	Hard Clap
40 E2	Snare Drum 2
41 F2	Low Floor Tom
42 F#2	Closed Hi Hat(EXC1)
43 G2	High Floor Tom
44 G#2	Peadal HiHat(EXC1)
45 A2	Low Tom
46 A#2	Open HiHat(EXC1)
47 B2	LowMid Tom
48 C3	Hi Mid Tom
49 C#3	Crash Cymbal 1
50 D3	High Tom
51 D#3	Ride Cymbal 1
52 E3	Chines Cymbal
53 F3	Ride Bell
54 F#3	Tambourine
55 G3	Splash Cymbal
56 G#3	Cowbell
57 A3	Crash Cymbal 2

Key No.	標準 セット
58 A#3	Vibraslap
59 B3	Ride Cymbal 2
60 C4	Hi Bongo
61 C#4	Lo Bongo
62 D4	Mute Hi Conga
63 D #4	Open Hi Conga
64 E4	Low Conga
65 F4	High Timbale
66 F#4	Low Timbal
67 G4	High Agogo
68 G#4	Low Agogo
69 A4	Cabasa
70 A#4	Maracas
71 B4	ShortWhistle(EXC2)
72 C5	Long Whistle(EXC2)
73 C#5	Short Guiro(EXC3)
74 D5	Long Guiro(EXC3)
75 D#5	Claves
76 E5	Hi Wood Block
77 F5	Low Wood Block
78 F#5	Mute Cuica(EXC4)
79 G5	Open Cuica(EXC4)
80 G#5	MuteTriangle(EXC5)
81 A5	OpenTriangle(EXC5)
82 A#5	Shaker
83 B5	Jingle Bell
84 C6	Belltree
85 C#6	Castanets
86 D6	Mute Surdo(EXC6)
87 D#6	Open Surdo(EXC6)
88 E6	

MIDI Implementation Chart

Function		Transmitted	Received	Remark
MIDI Channels		1 ~ 16	1 ~ 16	
Mode		X	3	
Note Number		21 ~ 108	0 ~ 127	
Velocity				
Note On		9n, V = 127	9n, V = 127	
Note Off		9n, V = 0	8n, V = 0 ~ 127	
Key Aftertouch		X	X	
Channel Aftertouch		X	O	
Pitch Bend		X	O	+2 Octave Pitch Band Sensitivity recognized
Control Change	0, 32	X	O	Bank Seselect
	1	X	O	Modulation
	6, 38	X	O	Data Entry
	7	X	O	Main Volume
	10	X	O	Pan
	11	X	O	Expression
	64	O	O	Damper Pedal
	67	O	O	Soft Pedal
	91	X	O	Reverb Depth
	93	X	O	Chorus Depth
	98	X	O	NRPN LSB
	99	X	O	NRPN MSB
	100	X	O	RPN LAB
	101	X	O	RPN MSB
	120	X	O	All Sound Off
	121	X	O	Reset All Controllers
	123	X	O	All Note Off
Programme Change		X	O (0 ~ 127)	

Note :

1. Default Pitch Bend = 1 Semitone
2. Mode 1 : OMNI On, Poly
3. Mode 2 : OMNI Off, Poly

故障かな?と思われる前に

症 状	思われる原因と解決方法
電源が入らない	• 電源コンセントがしっかり入っているか確認する。 • アダプターの連結部、ユニット本体の電源プラグにしっかり入っているか確認する。
音が出ない	• ヘッドホーンがしっかり差し込まれていますか？ • ボリュームが適当な大きさになっていますか？ • 鍵盤を弾いた時にユニット前面の MIDI 信号受信が点滅するかを確認します。点滅しない場合、本体と鍵盤をつなぐケーブルがしっかり入っているか確認します。 • システムの初期化をします。
一部の鍵盤だけが音がでない	• 消音システムを再初期化します。 初期化方法をよく読み正確に初期設定してください。
雑音が聞こえる	• 本システムは付属のヘッドホーンの許容量以上のボリュームが出ますのでボリュームを下げて御使用ください • ヘッドホーンに異物が入っていないか確認する
ペダル動作がおかしい	• ペダル機能を個別に設定できるモデルではペダル毎の機能設定に熟知し設定してください。
ピアノ音がもれる	• 本システムの消音機構はシャンクストップ方式を採用し、アコースティックピアノ演奏時の影響を最小限におさえる調整方法をとるため、最大のフォルテシモ等での演奏時に若干の音もれのするおそれがあります。 音もれを完全に止める取り付け調整も可能ですがその際は生ピアノ演奏時のタッチが通常よりも浅く感じられることがあります。 • 消音演奏時にマフラーペダル(ピアノの真中のペダル)が OFFになっていることを確認ください。(アップライトピアノ) • どうしても音もれが気になる場合、もしくはメゾフォルテ程度の演奏においても音もれのする場合は取り付け販売店、技術者にご相談ください。

Note

Note



Note



製品保証書

- ・ご購入後、正常な使用方法にておいて発生した故障につきましては下記の期間、無償で修理いたします。
- ・故障の際はお買い上げの販売店へご連絡ください

保証期間	本体		1年間
	ヘッドホン		6ヶ月 (持込修理)
	ACアダプター		6ヶ月 (持込修理)

無料修理規定

- 保証期間でも次のような場合は有料修理となります。
 - イ、使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ロ、お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - ハ、火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
 - ホ、本書の提示がない場合。
 - ヘ、本書にお買い上げ年月日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ト、消耗品の交換、仕様変更など。
- 保証期間内でも商品を修理窓口に送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客さまの負担となります。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。 保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お客さま名

取扱販売店名

住所

電話

取付ピアノメーカー

機種

製造番号

納入日

年

月

日

技術者名

- ・取付技術者の方へ

ユニット取付後、取付技術者名と取付日を上記へご記入ください。



輸入発売元

大阪府東大阪市寿町2丁目3-10

有限会社 オフィス タスティ